

## 与那国空港脱炭素化推進協議会(第2回)

### 議事次第

日時: 令和7年12月24日(水)

14:00～16:00

場所: 沖縄県与那国空港管理事務所  
1階会議室

#### 1 開会

#### 2 出席者紹介

#### 3 与那国空港脱炭素化推進計画(案)について

(1) 第1回協議会からの変更について **【資料1】**

(2) 与那国空港脱炭素化推進計画(案) 意見対応表について **【資料2】**

(3) 与那国空港脱炭素化推進計画(案) について **【資料3】**

(4) 与那国空港脱炭素化推進計画(案) 概要版について **【資料4】**

#### 4 閉会

## 与那国空港脱炭素化推進協議会（第2回） 議事概要

1 日時 令和7年12月24日（水）14：00～15：00

2 場所 与那国空港 1階応接室 <WEB会議併用>

3 参加者 別紙のとおり

### 4 議事概要

#### (1) 第1回協議会からの変更内容について

事務局から「第1回協議会からの変更内容」について説明した。

##### 【質問・意見等】

特になし

#### (2) 与那国空港脱炭素化推進計画（案）について

##### 【質問・意見等】

〈構成員〉

EV、FCVは充電/充填設備がなければ導入が進まない。充電/充填設備の設置主体をどのように決定する方針か。

〈事務局〉

充電/充填設備の設置主体については未検討であるため、今後協議を進めていきたい。

〈構成員〉

補助金は民間向けが多いという印象がある。特に蓄電池を入れると脱炭素だけでなく、燃料代の抑制にもつながる。こうしたコストメリットを踏まえて、今後の検討の際に導入したい設備等の希望をあげる可能性もあるので、よろしく願いたい。

〈会長〉

2030年度までの取組には「99%以上を自家消費することができると想定されるため、蓄電池の導入の必要性は低い」という記載について、認識として問題はないか。

〈構成員〉

与那国島においては、自家消費であっても10kW以上の太陽光発電設備を導入し、系統へ接続する場合、系統の安定化対策として太陽光発電設備容量の8割程度の容量を持つ蓄電池を入れていただく必要がある。系統への接続要件として出力変動率を2%に収めることが必要であり、変動を少なくする安定化装置として蓄電池の導入が求められる。

〈会長〉

太陽光発電設備の設置場所について、埋立地や北風を受けると塩をかぶる場所以外で、設置が難しい場所があるか。

〈構成員〉

法面及び窪地になっている場所があり、両方とも太陽光の設置には、埋め立て等の対応が必要と考える。

また、太陽光発電設備の具体的な設置場所を検討する際には、建物の建て替えや防水工事等が大きく影響するため、今後の建築計画を踏まえた上で、太陽光の導入計画を決めたほうが良い。

〈事務局〉

ターミナルビルは築38年で今後補強や修繕を行う予定である。2050年には築63年となり、建て替えを行う可能性もあるため、今後の建物の改修、建て替え計画を踏まえて、具体的な太陽光設置場所を検討していきたい。

〈会長〉

指摘いただいた事項について、軽微な修正作業を実施するが、与那国空港脱炭素推進計画（案）を承認していただけるか。

〈構成員〉

異議なし。

以上

(別紙)

与那国空港脱炭素化推進協議会（第2回）

表1 参加者一覧（構成員）

	事業所名	備考	出欠
1	琉球エアコミューター（株） 与那国空港所	航空会社	欠席
2	JAL スカイエアポート沖縄（株）	グランド ハンドリング会社	WEB 参加
3	八重山ビル管理（株）	空港ビル	欠席
4	沖縄電力（株）	電力事業者	現地参加
5	沖縄气象台	気象観測施設	WEB 参加
6	大阪航空局	無線施設	WEB 参加
7	沖縄県与那国空港管理事務所 （沖縄県八重山郡与那国町空港課）	町	現地参加
8	沖縄県土木建築部 参事	会長	現地参加